

異体字の眩埜

いたいじのこうや

オ一夜 「国」字攷

安岡孝一

- 1942年6月17日
国語審議会が「標準漢字表」2528字を答申
- 1942年12月4日
「標準漢字表」2669字を閣議決定
- 1945年11月27日
国語審議会が「標準漢字表」の再検討を開始
- 1946年4月27日
国語審議会が「常用漢字表(案)」1295字を不採択に
- 1946年11月5日
国語審議会が「当用漢字表」1850字を答申
- 1946年11月16日
内閣が「当用漢字表」1850字を告示
- 1947年7月15日
活字字体整理に関する協議会が発足
- 1947年10月10日
活字字体整理に関する協議会が「活字字体整理案」を国語審議会に報告
- 1948年1月1日
戸籍法改正、子供の名づけに使える漢字が「当用漢字表」1850字に制限
- 1948年6月1日
国語審議会が「当用漢字字体表」1850字を答申
- 1949年4月28日
内閣が「当用漢字字体表」1850字を告示
- 1949年6月29日
法務省が、子供の名づけに「当用漢字表」と「当用漢字字体表」の両方を認める通達



省文

省文者細書之用也寫細字者能此可以省功如未知此法則不可以讀細字此亦如學所當知也

一畫

ム 与某同

儿 幾古文作兒同音借用

三畫

义 義与古與才同音借用

万 古萬字

四畫

无 古無字周易用之俗作无非也

为 爲

劝 勸

办 辨

欠 欠

双 雙

区 區

冈 岡

佛

去 能

作 釋同音借用

五畫

圣 聖

处 古處字

旧 舊

仪 儀

尔 爾

礼 禮

厉 厲

对 對

乐 樂

夫 夫

此 此

六畫

阴 陰

陟 陟

阳 陽

气 氣

夙 風古文作夙

边 邊

庄 莊

收 收

龙 龍

欢 歡

权 權

灯 燈

当 机

机 機本音居里切

尽 盡

会 會

执 執

后 後

吃 喫

刘 劉

定 定

七畫

灵 靈同音借用

夫 賢

国 國

团 團

时 時

过 過

犹 猶

社 社

祸 抚

抚 撫

寺 寺

学 學

奉 奉

听 聽本音魚謹切

迁 遷

谷 穀同音借用

园 園本音吾官切

呕 庐

庐 廬

卢 瀘

具 具

兴 興

劳 勞

寿 壽

声 聲本音丘正切

忘 忘

计 音於切

励 勵

迈 邁

乱 亂

实 實

壳 殼

热 熱

灾 災

虎 虎

劲 兒

兒 兒

麦 麥

虫 虫

灶 灶

竈 竈

八畫

齐 齊

怜 憐本音離星切

八畫

齐 齊

怜 憐

柒 漆俗用为七八之七

命 命

劲 勁

医 醫

呕 嘔

社 社

図 1: 江戸時代末期の通用字体 [松井義: 古今字様考, 涵菴堂 (1861年).]

土部	口部	又部	厶部	厂部	冂部
土在地坂埋城堂堅報場	四回因困固國(囯)圍(圉)園 圓(囀)圖(囹)團	及友反取受 口古句召可史右各合吉 同名后向君吸告周味呼 命和品員唱商問啓善喜 單器	去參	厚原	印危卵卷
均坊坐坑坪垂型垣域執	囚圈 (囑)	又又叔叡叢 只叫叱叶司吃吏吐吞吟 否含呈吳吹吾呂咫唉咽 哀哨哲唄峻唇唐唯啞喉 喚喪喫嗣嘉嘗噲噴嚴囑		厄厘厭	却卸卽卿
				厥	
					咸 啻 嚮

图 2: 標準漢字表 (国語審議會答申, 1942 年 6 月 17 日)

畫	一部	一丁七丈三上下不且丕 世丘丙	儿部	允元兒充兆兕先光克免 鬼兒媿	又部	去參 又又及友反叔取受叢叢	女部	女好如妃妄妊妖妙妥妨 姝妹妻姉始姓委姦姪姪 姻姿威娘媿媿媿媿媿媿 媿媿媿媿媿媿媿媿媿媿
一	一部	中巾	入部	入內全兩(兩)	口部	口古句只叫召可台叱史 右叶司吃各合吉同名后	子部	子孔字存孚孝孟季孤孫 媿媿媿媿媿媿媿媿媿媿
、	一部	丸丹主	入部	八公六共兵其具典兼冀	口部	更吐向君吞吟否含呈吳 吸吹吾告呂周味呼命和	宀部	寗宇守安完宏宗官宙定 寗宜客宜室宮宰害宴家 寗寗寗寗寗寗寗寗寗寗
ノ	一部	乃久之乍乎乏乘	レ部	冬冶冷凄准凍凝	口部	噉喉唐唯唱商問啓啞啞 善喉喚喜喪單嗣嘉管啞	寸部	寸寺封射將專尉尊尋對 (對)導
乙	一部	乙九乞也乳乾亂(亂)	几部	凡凱	口部	囧四回因困固罔罔罔 囧囧(田)罔罔	尸部	尺尻尼尾尿局居屈屈屋 屍府展屏屢屨屨屬(屬)
丁	一部	了事	刀部	刀刃分切刈刊刑列初判 別利到制制刷劓劓劓劓劓	土部	土在地坂均坊坐坑坤坪 垂墜垣埋城域執培基培	山部	山岐岡岩岬岸岬岬岬岬 峻峽崇崎崩嵐嶮嶮嶮嶮
二	一部	二云五五井互亞	力部	力功加劣助努勃勅勇勉 勸勸勸勸勸勸勸勸勸勸	口部	壘墜墜墜墜墜墜墜墜墜 壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘	巾部	巾市布帆希帑帖帝帥師
一	一部	亡交亦享京亭	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	工部	工左巧巨差
人	一部	人仁仇今介仍仕他付仙	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		代令以仰仲件任企伊伍	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		伏伐休伯仲伺似但位	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		低住佐佑何余佛作佞佩	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		佳佻使來侈例侍供依侮	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		佻佻使來侈例侍供依侮	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		俠信修俱俳依倖併會個	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		倍倒曠倚借借借借借借	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		假(假)偉偏借借借借借	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		偶傳傍傑傘備傲備備備	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		傳傳傷傷傷傷傷傷傷傷	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳
		偽附價儀儉儉儉儉儉儉	勸勸	勸勸	夕部	夕外夙多夜夢	己部	己巳

圖 3: 標準漢字表 (閣議決定, 1942 年 12 月 4 日)
[週報, 第 324 号 (1942 年 12 月 23 日), pp.13-20.]

夕 夕 夕 土 口 口 又 厶 厂 卩 卜
 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部

占
 卩危卵卷卽
 厚原
 去參
 及友反取受
 口古句召可史右司各合吉同名后吏向君
 否呈吸告周味呼命和品員哲唱商問啓善
 喜單喫器嚴囑(囑)
 四回因困固國園園円(圓)圖團
 土在地板均坑坪型埋域執墓堂豎報場境
 墓增墨墾壇壓壤
 士壯尅(尅)壽
 夏
 夕外多夜

图 4: 常用漢字表 (案)

[国語審議會第 9 回總會資料 (1946 年 4 月 27 日), 国語審議會関係文書, 国立公文書館.]

木下

國語審議會常用漢字に関する主査委員会第五回

日時 昭和二十年八月二十七日(火) 午前九時十分から午後三時まで

場所 文部省教科書局長室

議題 常用漢字表の第2号再検討に関する件

・ 簡易字体に関する件

配付資料 漢字凡号 簡易字体

漢第2号簡易字体の分類(三宅喺訖)

・ 第2号簡易字体の解説(高田忠周氏所説に據る)

國語審議會漢字主査委員会要録

経過

山本主査委員長名席。先づ文部省三宅喺訖から簡易字体の分類につき説明がある。次に簡易字体の審議に移る。別紙中○印のついたものが本日採用に当たるとある。出来ただけ実行可能な範囲に留まつて、余り熟さぬものは二小と控へ、又字体別取整理に当たつては將來字体整理委員会が考慮に及らざる内題にすることと云ふ。從つて大膽に略字と採用できぬと云ふ主張からは遠い。

大日本帝國政府

審議中、山本委員長から電話連絡があり、小新聞、地方新聞、雑誌、社、出版社、執筆者に対して常用漢字表発表前に意見を伺つては如何といふことと語つたが、意見百出で、中には「混然」といふ理由で否決され、発表直後「勘解」といふ協力と云ふことになった。

常用漢字の数は今更訂では一七五、字である。但し留付中の三字(例、凸、凹等)審議中にある三字(兼、遵等)があるが未定である。

従来。漢字表 一、九五字

再検討による追加 四七二字

・ 削除 一七字

差引 一七五〇字

審議

一 簡易字体中、不採用と云ふもの

国(國) 解(解) 气(氣) 來(來) 地(地) 仙(佛) 松(栞)

昼(晝) 尽(盡) 灯(燈) 莖(莖) 石(廣) 呼(留)

二 簡易字体も必要とするもの(案) うち更に適当な簡易字体を補つて云ふもの

(高田忠周氏所説に據る)

図 5: 木下一郎メモ (1946年8月27日)
 [常用漢字に関する主査委員会 (1946年8月27日), 国語審議會関係文書, 国立公文書館.]

氏名等を平易にする法律試案

帝國憲法改正に伴ふ戸籍法改正に當り、氏名等を平易にするため、左記の趣旨の規定を設けられんことを望む。

一、戸籍法改正法律に左記の趣旨の規定を設けること。

第 條 戸籍の記載及び届書には、常用平易な語を用い、字畫を明瞭にしなければならない。

常用平易な語の範圍は、命令をもつてこれを定める。

前項の範圍外の語を用いた氏名の記載は、管轄官廳の許可を得て、假名又は従前の語の發音を著しなす語その他適當な語に変更することができる。但しその語の訓は変更できない。

第 條 氏名を漢字で記載する場合には、假名の訓をつけなければならない。

前項の訓は、漢字の氏名と同一の效力を有する。

二、戸籍法施行令改正勅令中に左記の趣旨の規定を設けること。

第 條 戸籍法第 條の規定により常用平易な語の範圍を左記の通り定める。

一 文部省公表の常用漢字表の文字で表はした語 但し方言、なまり音その他普通の音訓によらないものを除く。

二 片假名又は平假名但し萬葉假名を除く。

三 ローマ字

図 6: 氏名等を平易にする法律試案

[常用漢字に関する主査委員会 (1946 年 10 月 1 日), 国語審議會関係文書, 国立公文書館.]

土部 口部 口部 又部 厶部 厂部 日部 卜部 十部 匚部 匚部

土	因	嘆	品	向	口	又	去	厘	印	占	十	匹	匠
在	四	器	員	君	古	及	參	厚	危	卮	千	匿	匿
地	回	噴	哲	吟	句	友	參	原	却	卯	并	區	區
坂	因	嚇	峻	否	叫	反	參		卷	卸	午	區	區
均	困	嚴	唐	含	召	取			卸	卸	半	區	區
坊	固	囁	唯	呈	可	受			卽	卽	卑	區	區
坑	圈	囁	唱	吳	史	叔					卒	區	區
坪	國		商	吸	右						卓	區	區
垂	用		問	吹	司						協	區	區
型	圍		啓	告	各						南	區	區
埋	園		善	周	合						博	區	區
城	圓		喚	味	吉							區	區
域	圓		喜	呼	同							區	區
執	圖		喪	命	名							區	區
培	圖		喫	和	后							區	區
基	團		單	啖	吏							區	區
堂			嗣	哀	吐							區	區

图 7: 当用漢字表 (国語審議會答申)

[国語審議會第 12 回總會資料 (1946 年 11 月 5 日), 国語審議會関係文書, 国立公文書館.]

囫 回 回 回	囑 囑	噴 噴	(器) 器 器	嘆 嘆	(單) 單 單	喫 喫	啓 啓	商 商	唐 唐	唆 唆	員 員	咲 咲	周 周	告 告	吳 吳
境 境	塑 塑	堪 堪	(堅) 堅 堅	培 培	城 城	型 型	坪 坪	均 均	王 坂 坂	團 團	囟 圖	円 圓	圃 圃	(國) 國 國	圈 圈
奔	契 契	天 奇 奇	(壽) 壽 壽	壹 壹	王 (壯) 壯	(壞) 壞 壞	(壘) 壘 壘	壇 壇	壓 壓	壁 壁	墳 墳	墮 墮	墨 墨	增 增	墜 墜
宜 宜	字 學 學	(孃) 孃 孃	嫡 嫡	婿 婿	婦 婦	娛 娛	娘 娘	姬 姬	姊 姊	妹 妹	妥 妥	妊 妊	女 妃 妃	(獎) 獎 獎	奧 奧
尋 尋	尊 尊	專 專	(將) 將 將	寶 寶	(審) 審 審	寧 寧	寫 寫	實 實	寢 寢	寒 寒	富 富	寄 寄	容 容	害 害	宰 宰
幾 幾	平 平	帽 帽	帝 帝	帆 帆	巨 巨	(巢) 巢 巢	岳 嶽	崩 崩	山 峰 峰	屬 屬	層 層	屈 屈	尺 尺	局 局	對 對

图 9: 活字字体整理案 (1947 年 10 月 10 日)

因 回 四 囚^囧 囑 巖 嚇 噴 器 嘆

土^至 囡 囧 囡 園 井 國 卷 固 困

埋 型 垂 坪 坑 坊 均 坂 地 在

報 堪 堤 堅 堂 基 培 執 域 城

墨 增 墜 墓 境 塗 塔 塑 塊 場

壯 士^至 壞 墨 庄 壇 壁 墾 墳 墮

图 10: 当用汉字字体表 (国語審議會答申)

[国語審議會第 14 回總會資料 (1948 年 6 月 1 日), 国語審議會關係文書, 国立公文書館.]

